

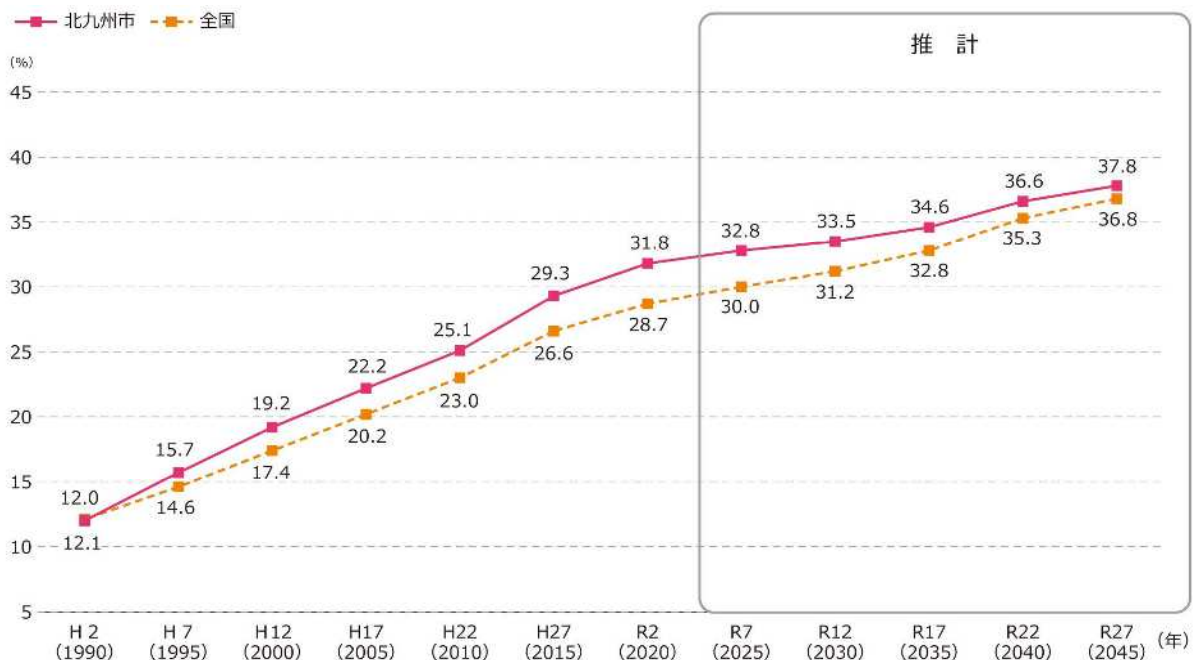
福祉・医療の状況について

主なポイント

- 高齢化率は、増加傾向にあり、全国平均よりも高く、令和27年には37.8%と予測。
【スライド62参照】
- 健康寿命は、政令市の中で、男性は18番目、女性は5番目。【スライド64参照】
- 生活習慣病による人口10万人当たりの死亡者数は、政令市の中でトップ。
【スライド65参照】
- 人口1,000人当たりの要介護・要支援認定者数は、政令市の中でトップ。
【スライド66参照】
- 独居老人の世帯が一般世帯に占める比率は、政令市の中でトップ。
【スライド67参照】
- 障害のある人は、身体障害のある人は減少傾向、知的障害や精神障害のある人は増加傾向。【スライド68参照】
- 人口10万人当たりの一般病院数および病床数ともに、政令市の中で3番目。
【スライド69参照】
- 高齢者10万人当たりの介護サービス事業所数は、政令市の中で9番目。
【スライド70参照】

61

高齢化率の推移



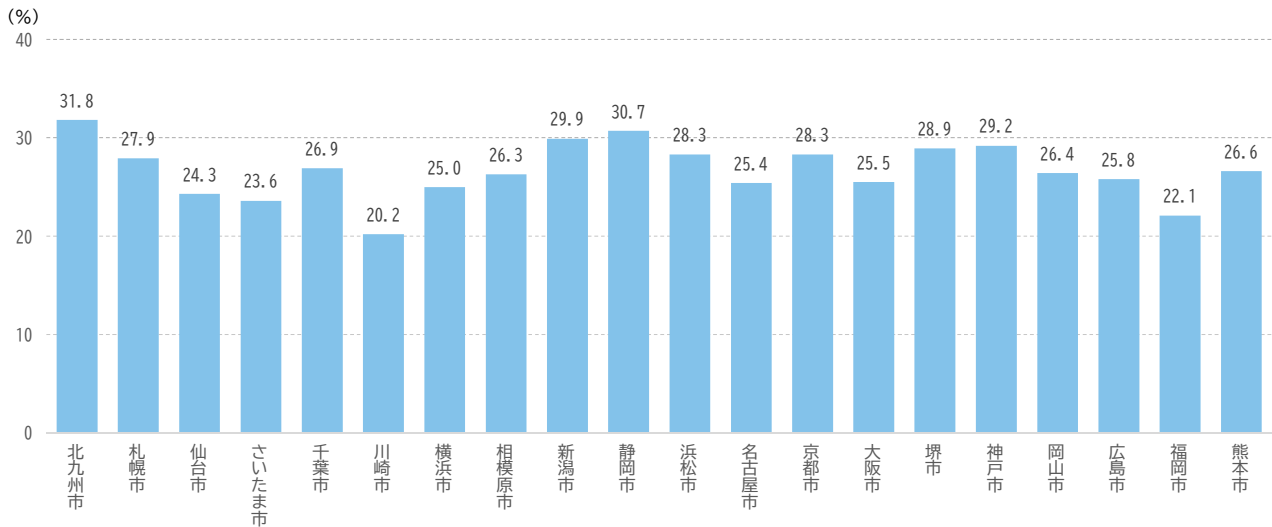
出典：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」、「日本の将来推計人口（平成29年推計）」

- ・高齢化率は、増加傾向にあり、全国平均よりも高い状況にある。
- ・令和27年には37.8%と予測されている。

62

高齢化率（65歳以上人口割合）

（政令市比較）



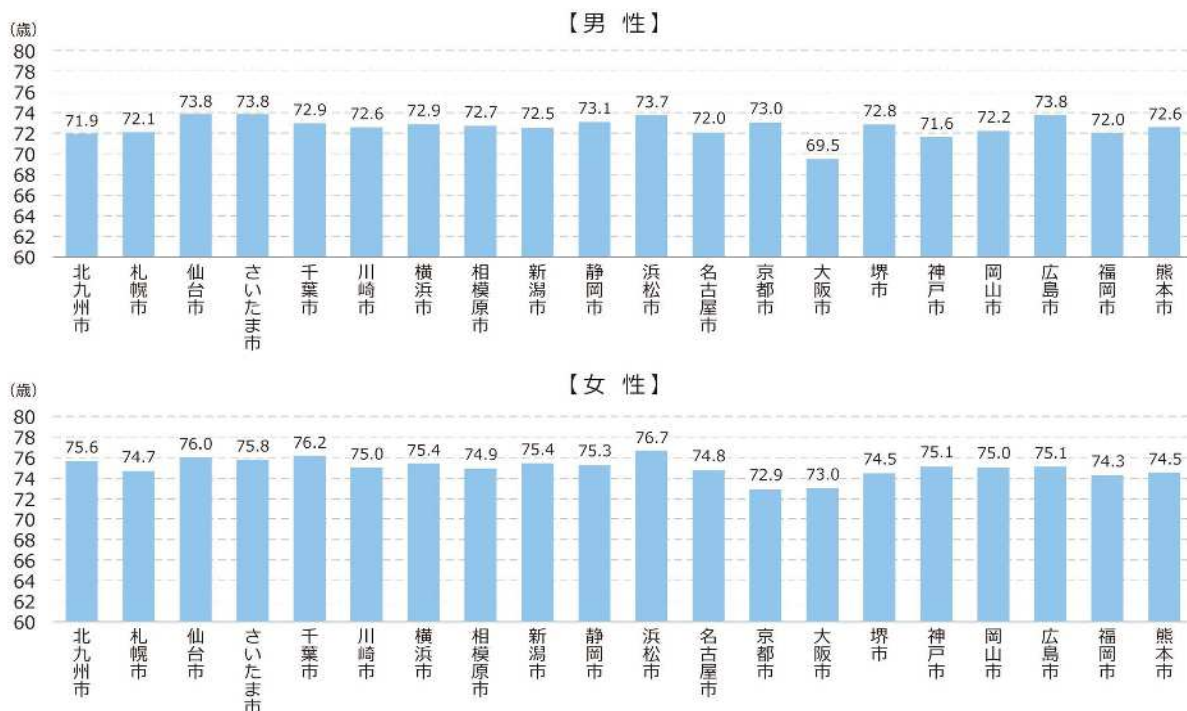
注：R2年10月1日現在

出典：総務省「令和2年国勢調査」

・高齢化率は、政令市の中で、最も高くなっている。

健康寿命

（政令市比較）

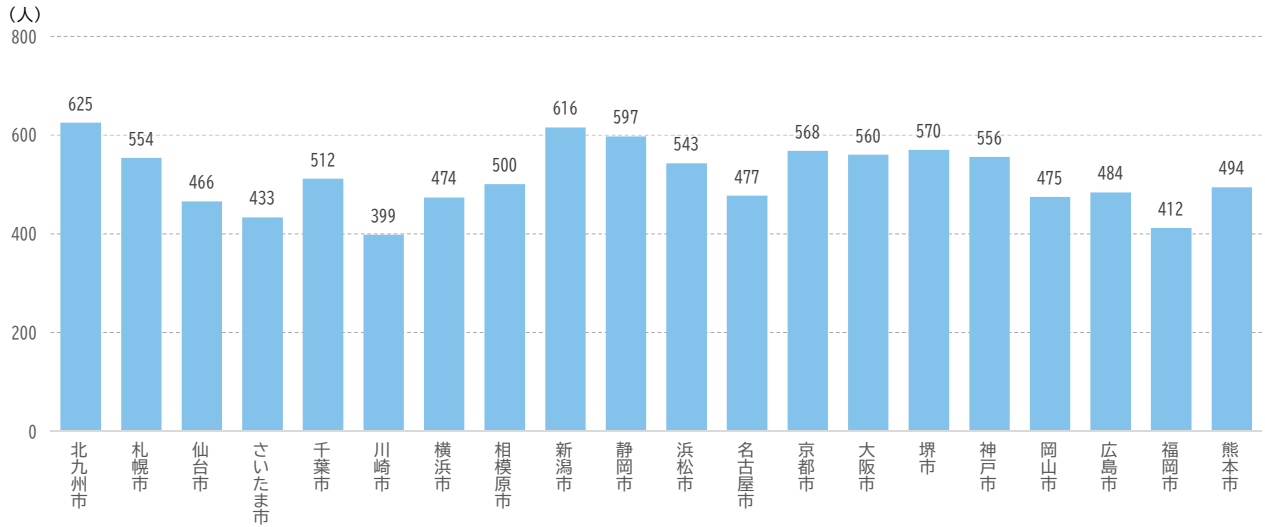


注：健康寿命 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間。

出典：厚生労働省「厚生労働科学研究」(2019年結果)

・健康寿命は、政令市の中で、男性では18番目、女性では5番目となっている。

人口10万人当たり生活習慣病による死亡者数(R3年) (政令市比較)



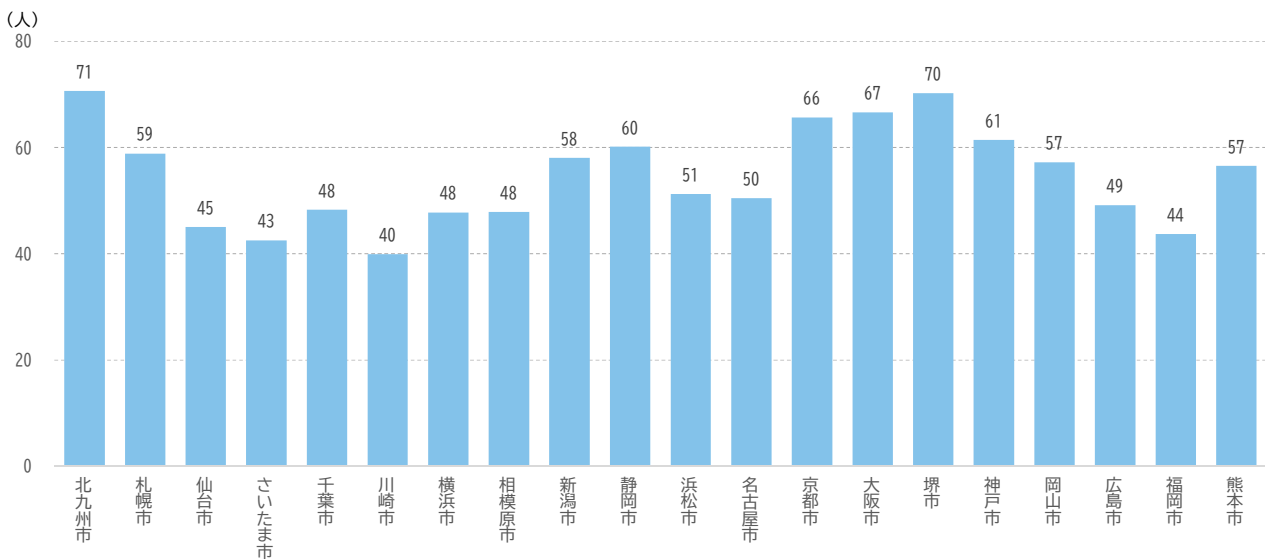
注：生活習慣病は、悪性新生物、糖尿病、高血圧性心疾患、心疾患及び脳血管疾患を指す。
人口はR3年10月1日現在の推計人口。

出典：厚生労働省「人口動態調査」、各市推計人口

・人口10万人当たりの生活習慣病による死亡者数は、政令市の中でトップとなっている。

65

人口1,000人当たり要介護・要支援認定者数(R3年) (政令市比較)

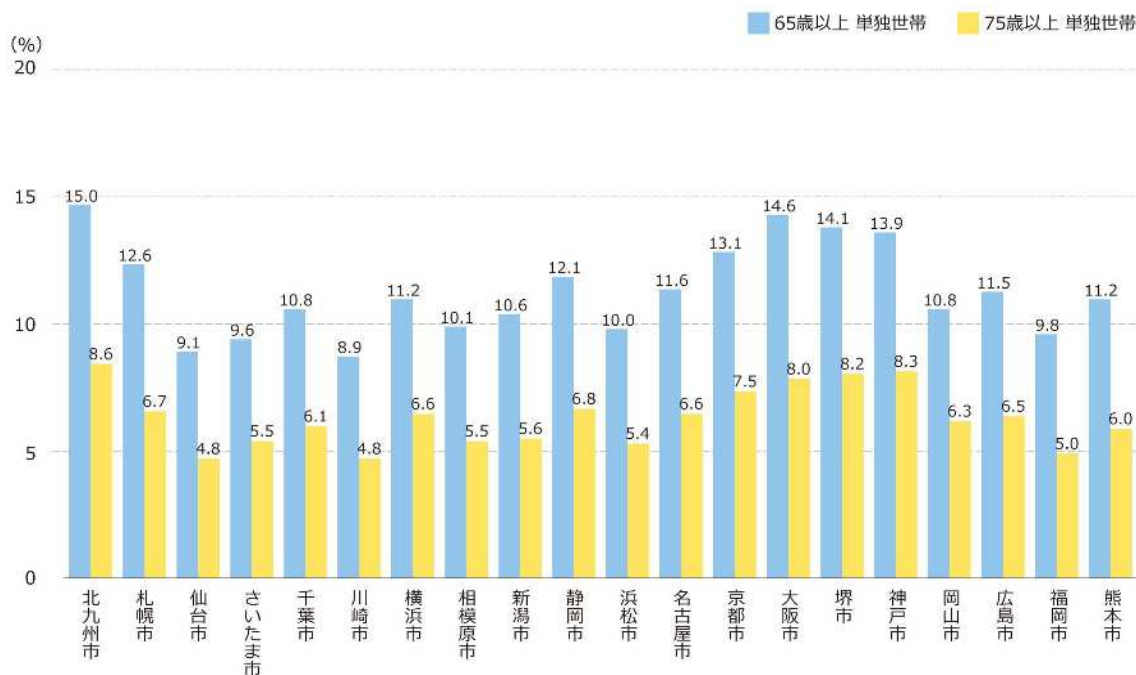


注：要介護・要支援認定者数はR3年3月末日現在
人口はR3年10月1日現在の推計人口

出典：北九州市

・人口1,000人当たりの要介護・要支援認定者数は、政令市の中でトップとなっている。

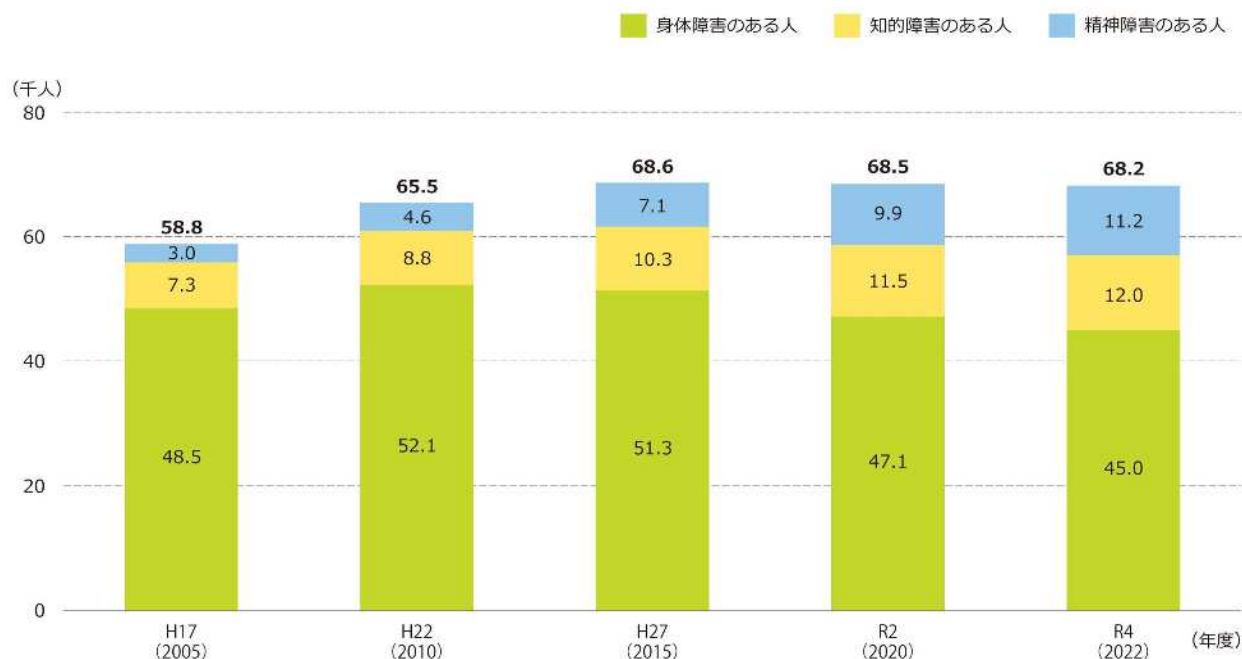
66



出典：総務省「令和2年 国勢調査」

・独居老人が一般世帯に占める割合は、65歳以上、75歳以上ともに、政令市の中でトップとなっている。

障害のある人の推移



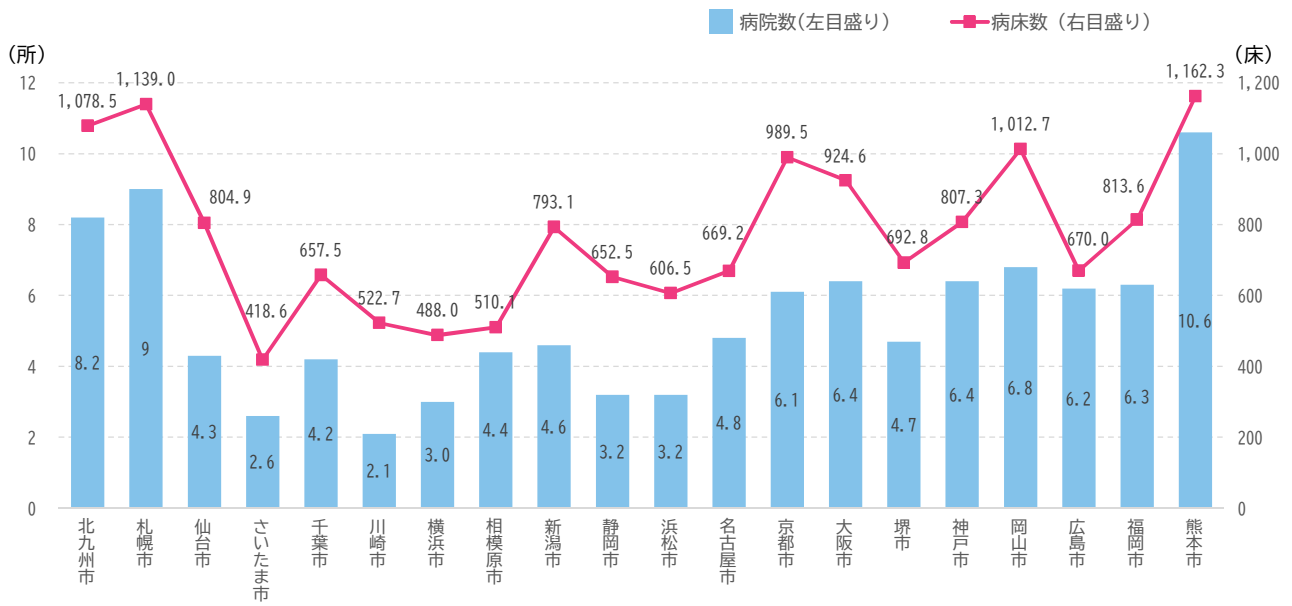
注：人数は各障害者手帳所持数(各年度末時点)
小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

出典：北九州市

・障害のある人は、身体障害のある人は減少傾向、知的障害や精神障害のある人は増加傾向にある。

人口10万人当たり一般病院数・一般病院病床数(R3年)

(政令市比較)



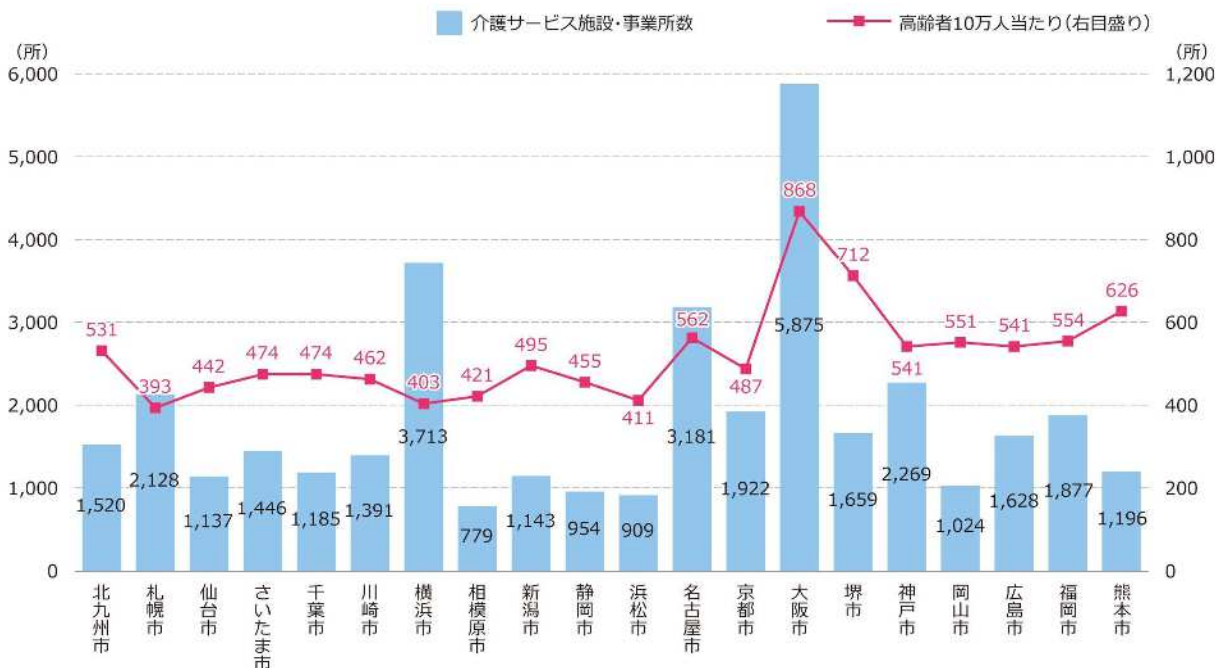
注：R3年10月1日現在

出典：厚生労働省「医療施設調査」

・人口10万人当たりの一般病院数および病床数ともに、政令市の中で3番目となっている。

介護サービス施設・事業所数(R2年)

(政令市比較)

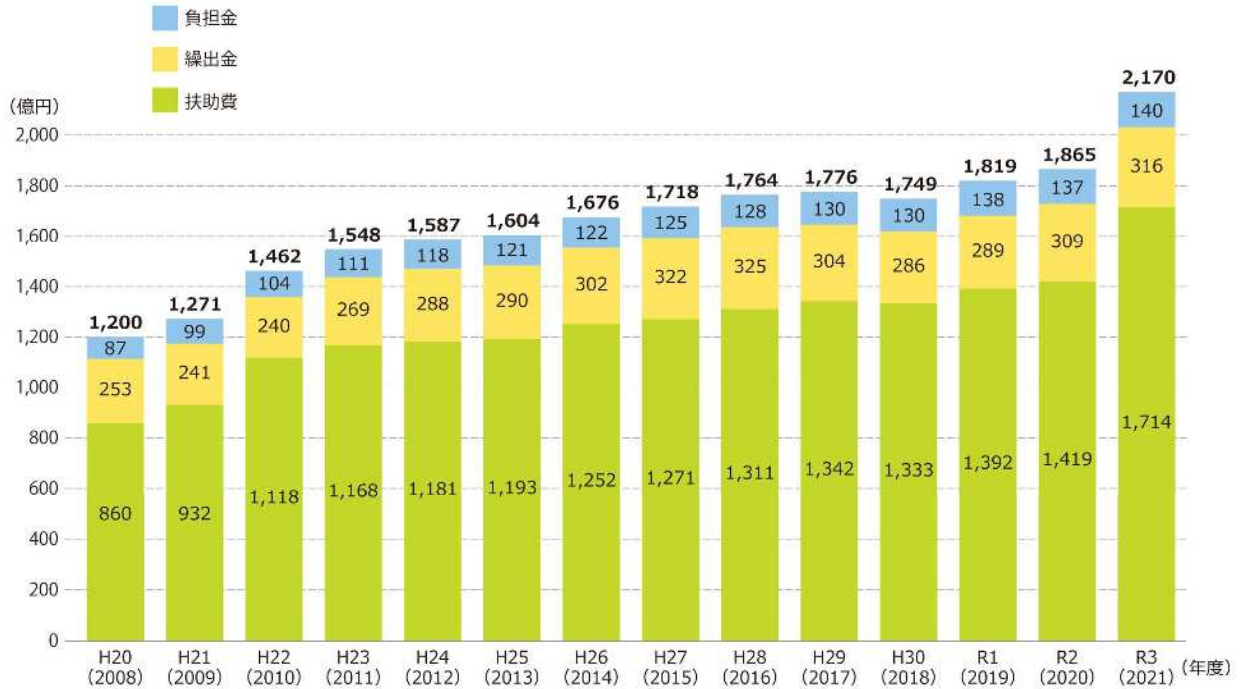


注：「介護サービス施設・事業所数」は厚生労働省所管の介護サービス施設・事業所調査(R2年10月1日)の基本票による結果で、介護サービスを行っている事業所数

出典：大都市比較統計年表、総務省「令和2年国勢調査」

・高齢者10万人当たりの介護サービス事業所数は、政令市の中で9番目となっている。

福祉・医療関係経費の決算額の推移



出典：北九州市

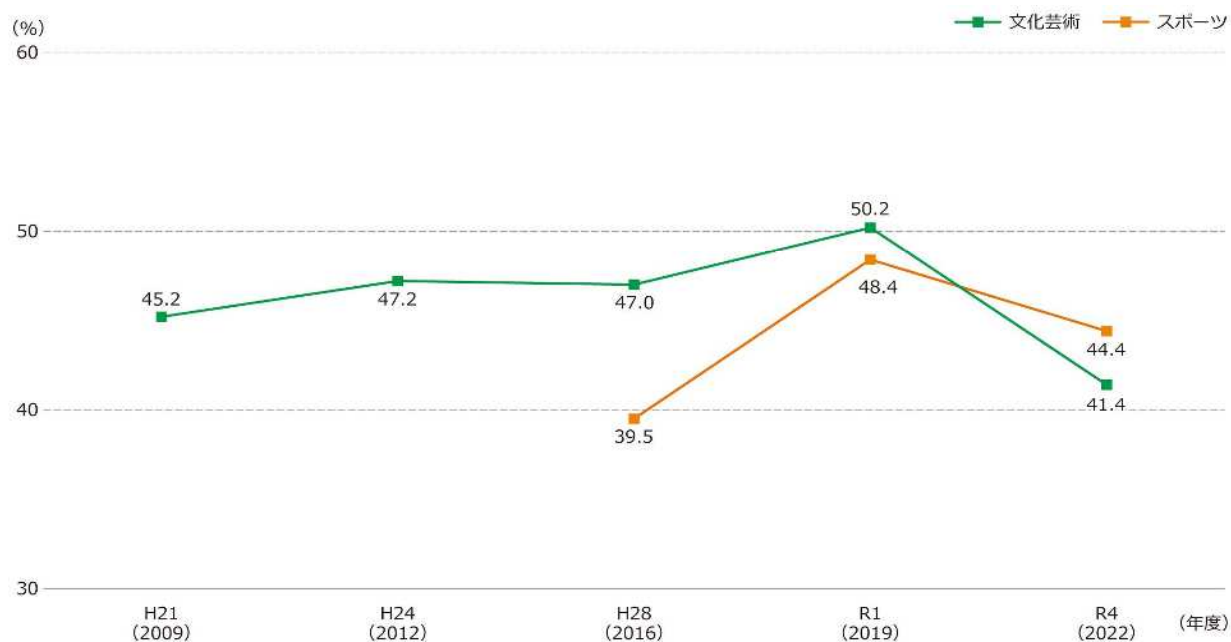
・市の決算額における福祉・医療関係経費は、増加傾向にある。

文化・スポーツ・教育の状況について

主なポイント

- 文化芸術またはスポーツに親しむ機会に恵まれていると感じている市民の割合は、40～50%で推移。【スライド73参照】
- 全国学力・学習状況調査において、小学生・中学生ともに、算数（数学）の平均正答率は、政令市の中で下位に位置。【スライド74・75参照】
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、小学生・中学生の男子・女子ともに、体力合計点は、政令市の中で上位に位置。【スライド76～79参照】

「文化芸術」・「スポーツ」に親しめるまちであることに対する満足感の推移



注：「文化芸術に親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。」、「スポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。」に対して、「とても感じている」、「ある程度感じている」の割合の合計
H21、H24の文化芸術の満足度には、スポーツの満足度も含む

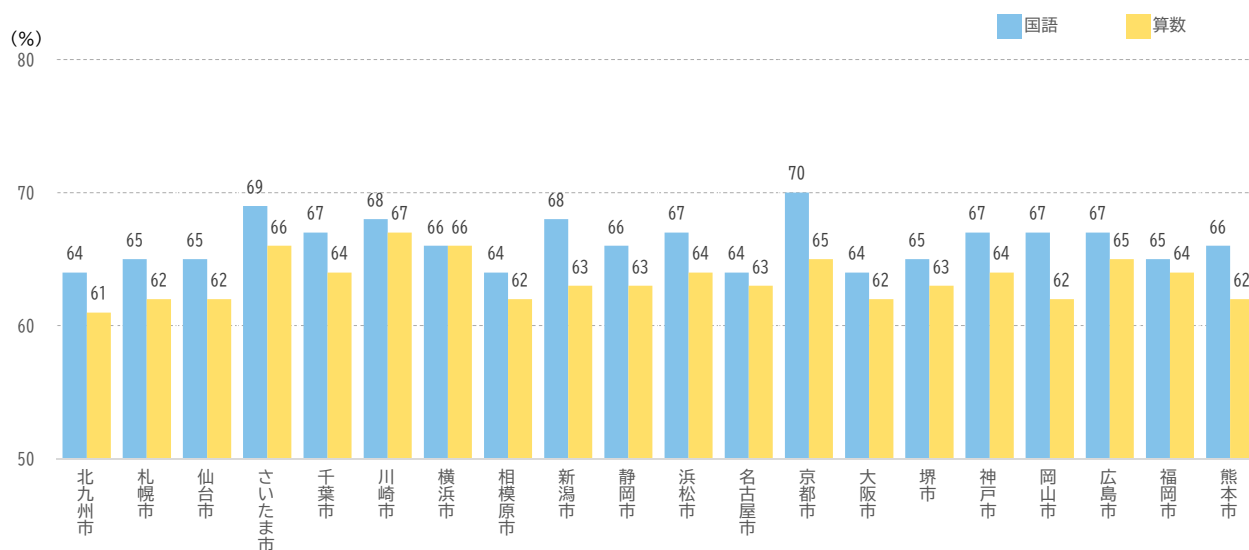
出典：北九州市（市政満足度調査）

・「文化芸術」または「スポーツ」の機会に恵まれているまちと感じている市民は、令和4年度はどちらも40%台となっている。

73

小学生：全国学力・学習状況調査の結果(R4年度)

(政令市比較)

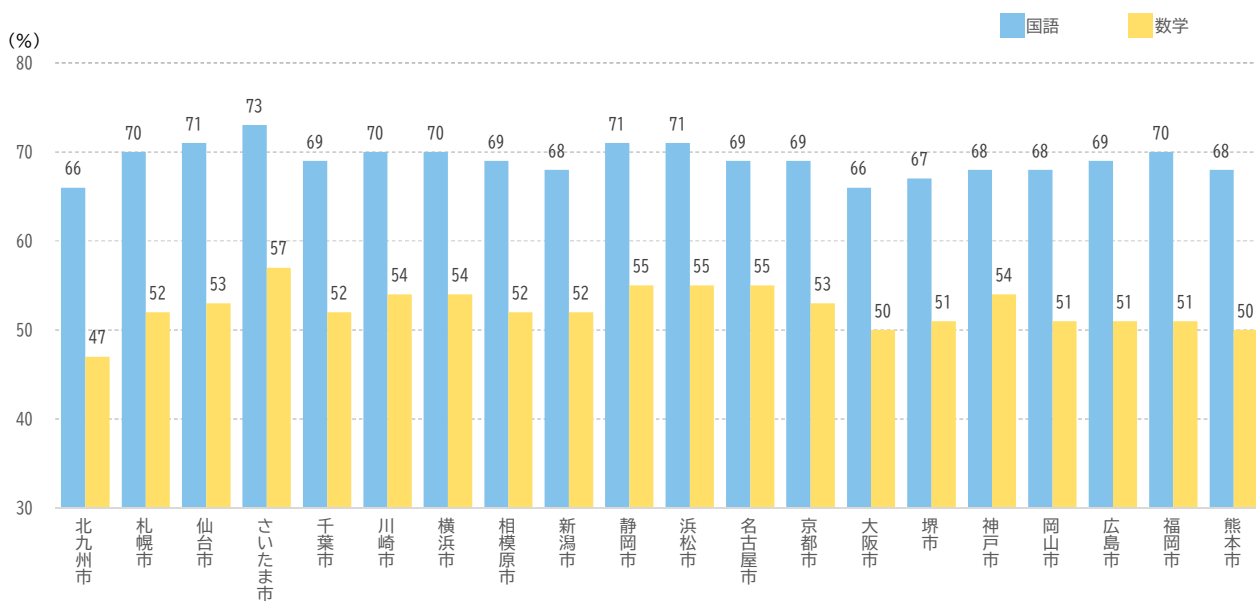


注：数値は教科ごとの平均正答率を示したものです。

出典：文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」

・小学生の「算数」の平均正答率は、政令市の中で下位に位置している。

74

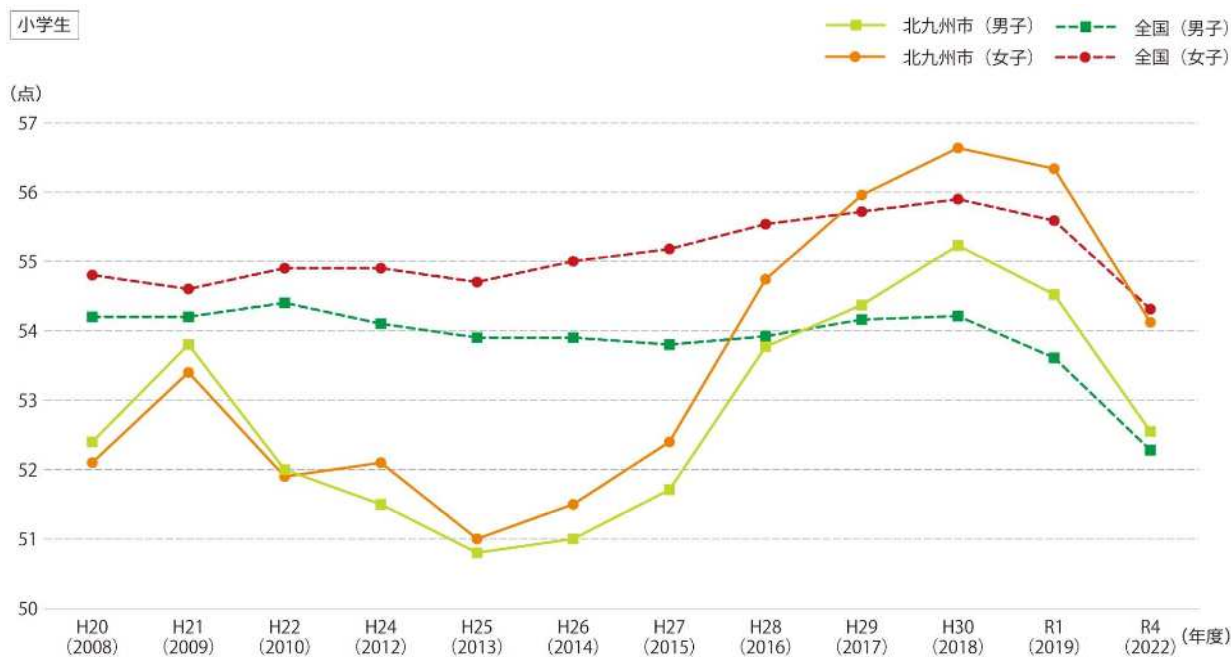


注：数値は教科ごとの平均正答率を示したものの。

出典：文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」

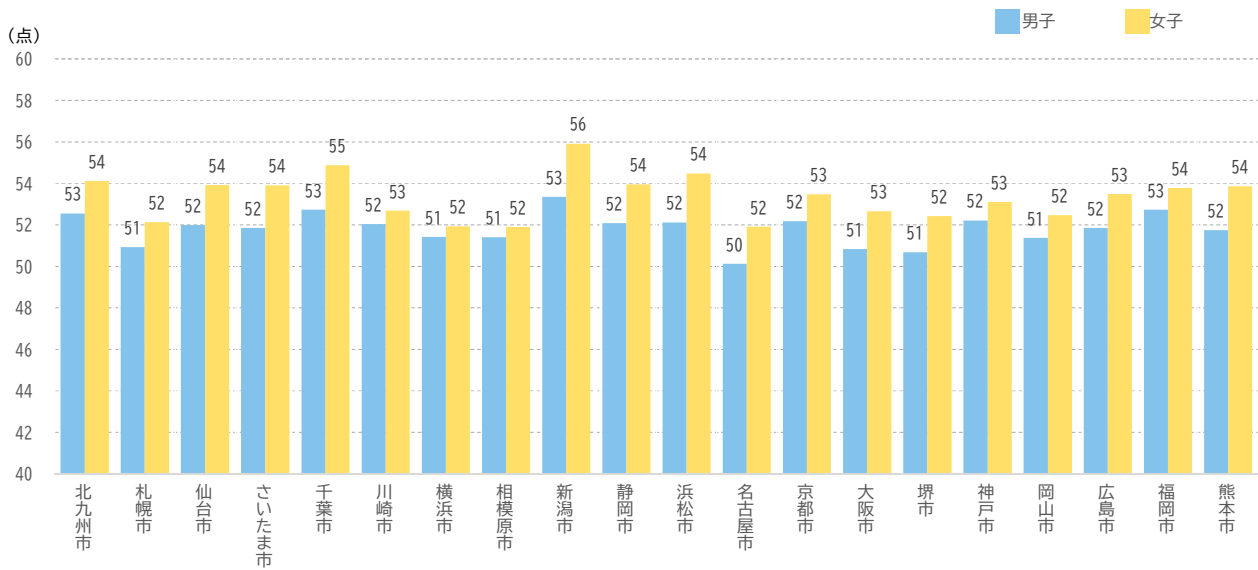
・中学生の「国語」と「数学」ともに平均正答率は、政令市の中で下位に位置している。

小学生：全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の推移



出典：北九州市

・小学生の体力合計点は、男子は全国平均より高い。

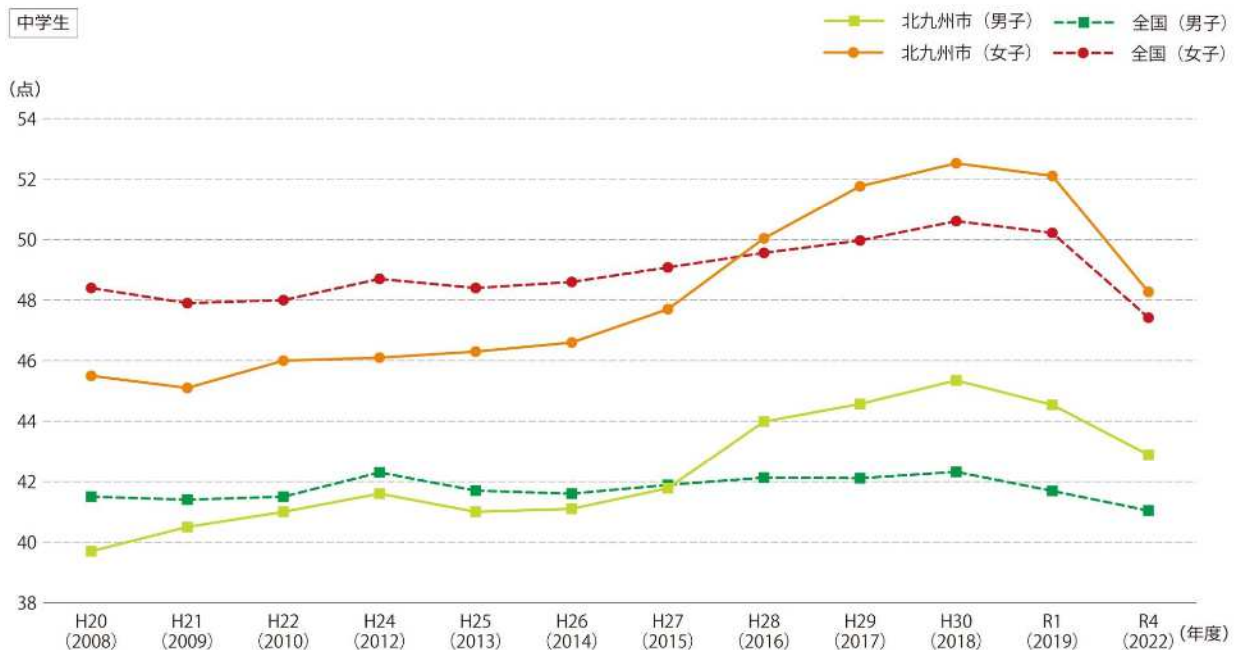


注：数値は体力合計点を示したもので、小数点以下は四捨五入。

出典：スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

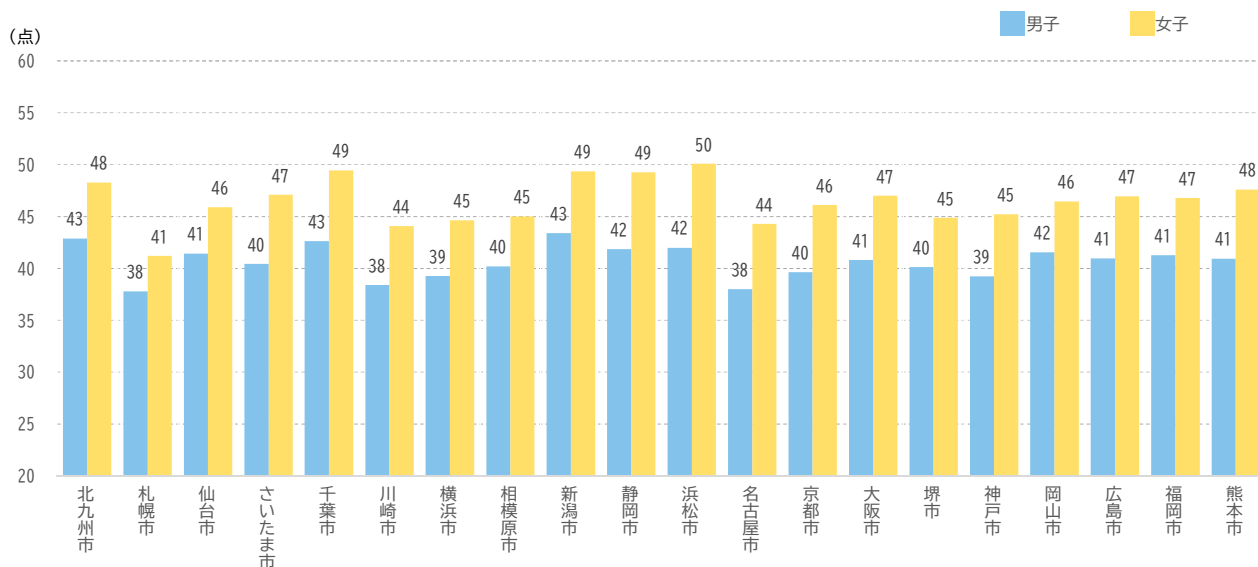
・小学生の体力合計点は、男子、女子ともに政令市の中で上位に位置している。

中学生：全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の推移



出典：北九州市

・中学生の体力合計点は、男子、女子ともに全国平均より高い。



注：数値は体力合計点を示したもので、小数点以下は四捨五入。

出典：スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

・中学生の体力合計点は、男子、女子ともに政令市の中で上位に位置している。

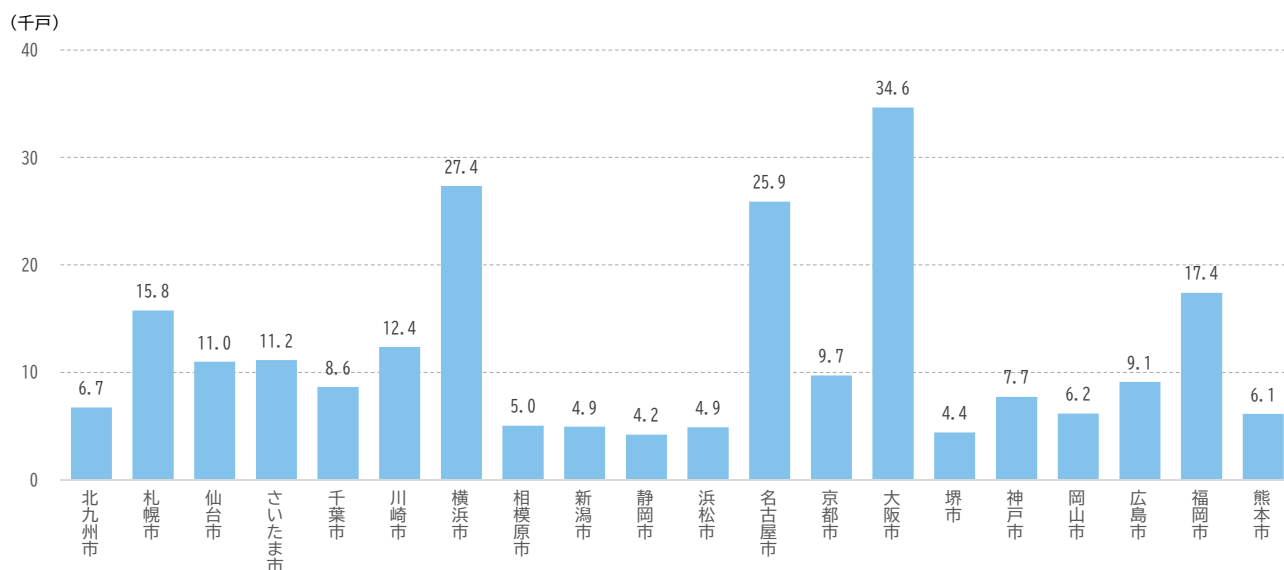
住環境の状況について

主なポイント

- 着工新設住宅戸数は、政令市の中で13番目。【スライド81参照】
- 建築時期が昭和55年以前の住宅の割合は、政令市の中で2番目。【スライド82参照】
- 住宅総数に占める空き家の割合は、政令市の中で2番目。【スライド83参照】

着工新設住宅戸数（R4年）

（政令市比較）

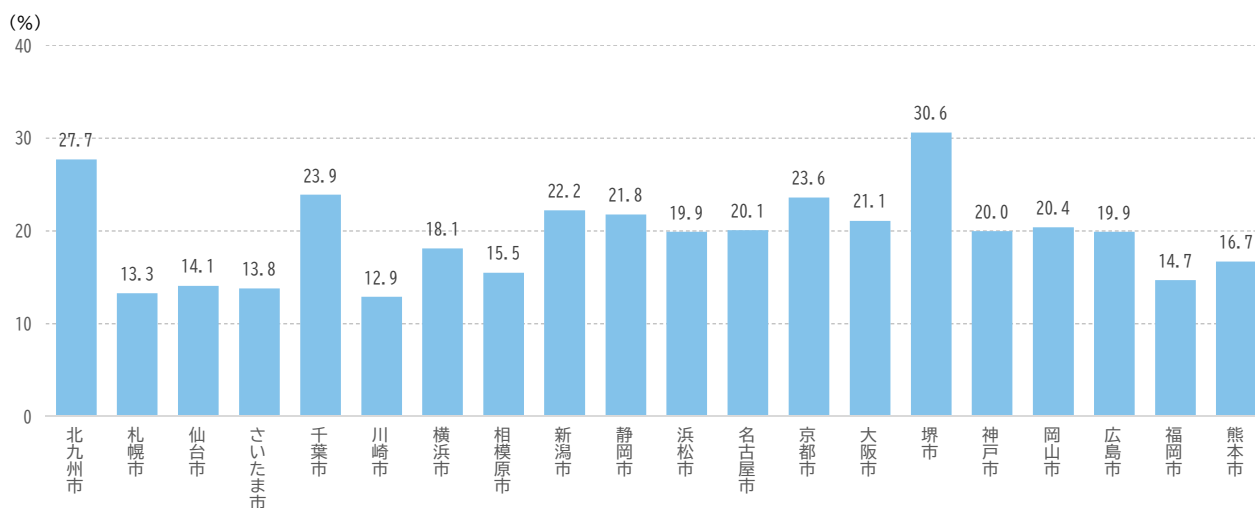


出典：国土交通省「令和4年建築着工統計調査」

・令和4年の着工新設住宅戸数は、政令市の中で13番目となっている。

建築時期が昭和55年以前の住宅割合

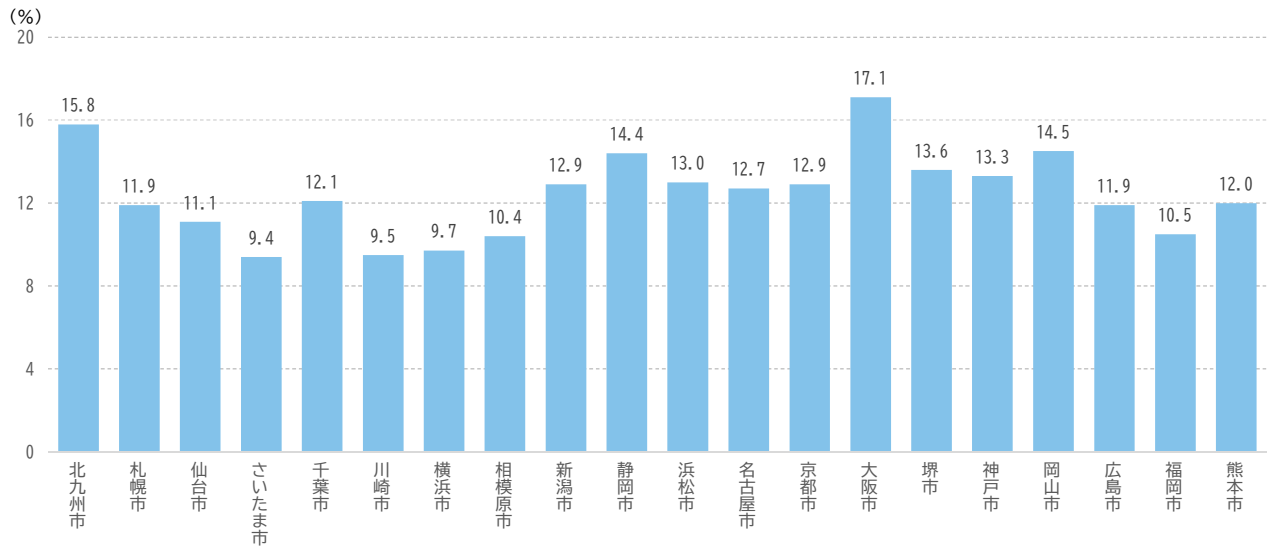
（政令市比較）



注：算出方法 昭和55年以前に建築された居住世帯のある住宅数÷総数×100
 総数には建築の時期不詳を含む。
 S56年6月1日に建築基準法施行令が改正され、新耐震基準となった。

出典：国土交通省「平成30年住宅土地統計調査」

・建築時期が昭和55年以前の住宅割合は、政令市の中で2番目となっている。



注：算出方法 空き家総数÷住宅総数×100

出典：国土交通省「平成30年住宅土地統計調査」

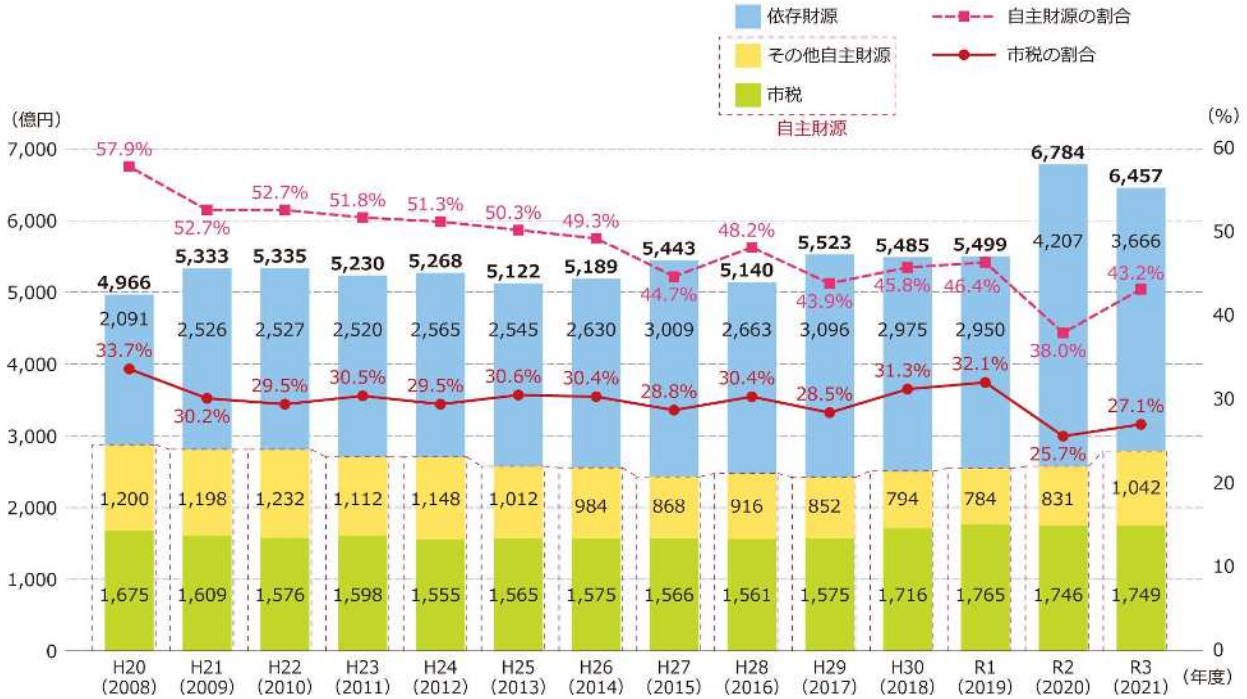
・住宅総数に占める空き家の割合は、政令市の中で2番目となっている。

財政の状況について

主なポイント

- 一般会計の歳入決算における、自主財源の割合は40～50%程度、市税の割合は30%程度で推移。【スライド85参照】
- 歳入に占める市税の割合は、政令市の中で19番目。【スライド86参照】
- 自主財源比率は、政令市の中で13番目。【スライド87参照】
- 財政力指数は、政令市の中で18番目。【スライド88参照】
- 市民1人当たりの市債残高（普通会計／臨時財政対策債を除く）は、政令市の中で最も高くなっている（政令市平均の約1.8倍）。【スライド90・91参照】

一般会計歳入決算額の推移



出典：北九州市

・一般会計の歳入決算における、自主財源の割合は40～50%程度、市税の割合は30%程度で推移している。

市民1人当たりの市税収入と歳入に占める市税の割合(普通会計決算-R3年度)

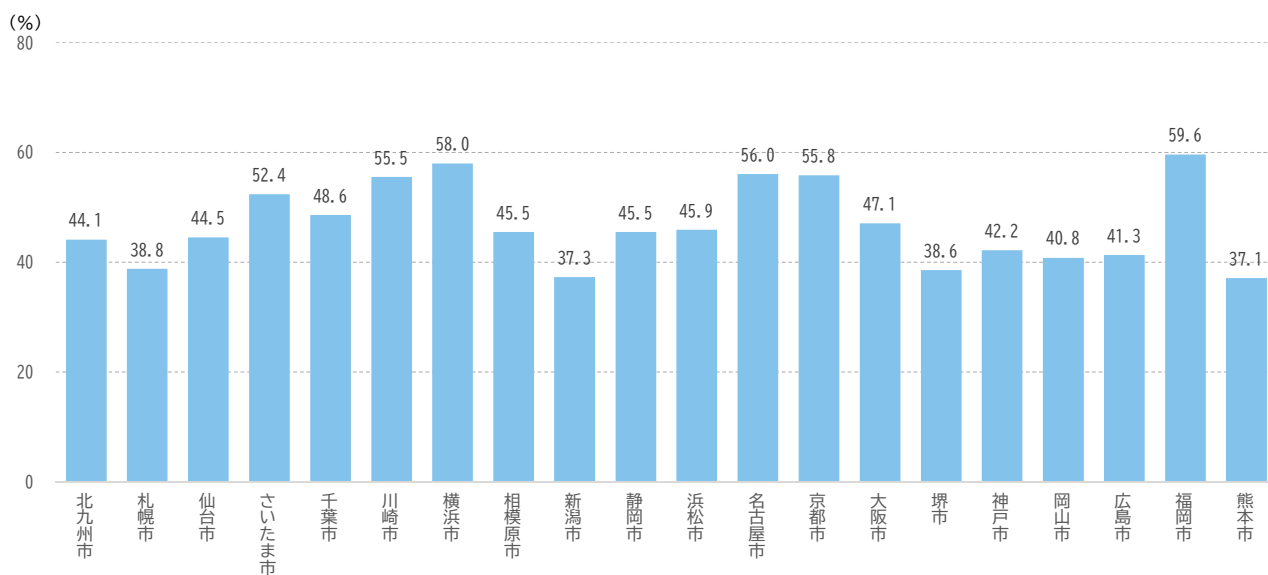


出典：北九州市

・市民1人当たりの市税収入は、令和3年度では18万7千円となっている。
 ・歳入に占める市税の割合は、政令市の中で19番目となっている。

自主財源比率

(政令市比較)



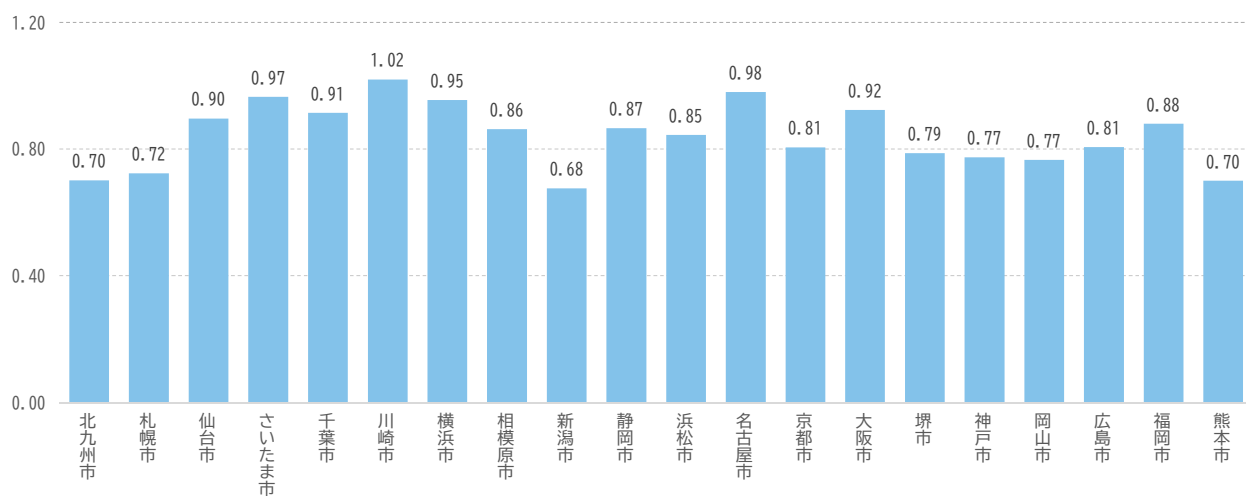
注：R3年度決算額に基づく数値

出典：「大都市比較統計年表／令和3年」

・自主財源比率は、政令市の中で13番目となっている。

財政力指数

(政令市比較)

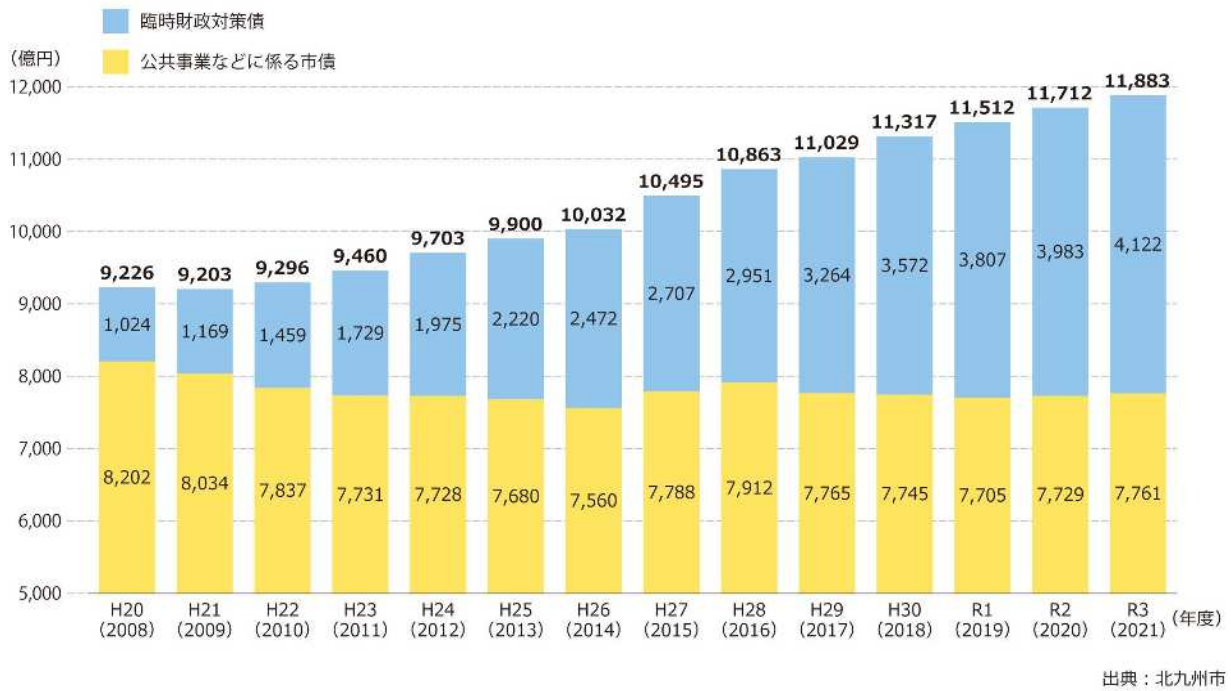


注：財政力指数とは、地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きく、財源に余裕があるといえる。

出典：「大都市比較統計年表／令和3年」

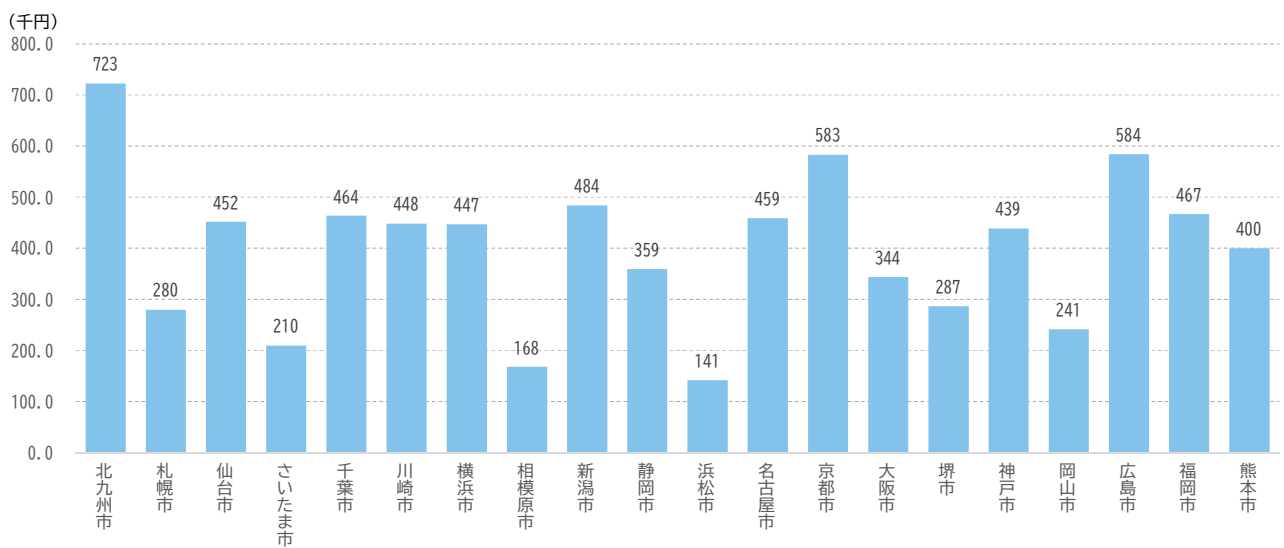
・財政力指数は0.70となっており、政令市の中で18番目となっている。

市債残高決算額の推移(一般会計)



・公共事業などに係る市債は7,761億円となっており、臨時財政対策債を加えると、1兆1,883億円となっている。

市民1人当たり市債残高(普通会計決算-R3年度)(政令市比較)



注：算出方法 令和3年度市債残高÷人口（R3年10月1日現在）
市債残高は普通会計における数値であり、臨時財政対策債を除く。

出典：北九州市

・臨時財政対策債を除く市民1人当たりの市債残高の額は、政令市の中で最も高くなっている。

市民1人当たり市債残高の推移(普通会計-臨時財政対策債を除く)



出典：北九州市

・臨時財政対策債を除く市民1人当たりの市債残高の額は、政令市平均の約1.8倍となっている。